

Mémoires 2019

桜花賞

第79回桜花賞「G1」優勝馬グランアレグリア



桁違いのスピードで圧巻の勝利



快晴のもと、絶好の馬場コンディションで迎えた79回目の桜花賞で大きな注目を集めたのは、単勝オッズが10倍を切った三強。前年の阪神ジュベナイルフィリーズで激闘を演じたダノンファンタジーとクロノジェネシス、そして牡馬を相手に朝日杯フューチュリティステークスで3着に食い込んだグランアレグリアである。



▲ 早めに動いたグランアレグリア(帽色・青・左)が4コーナーで先頭に並びかける。



▶ 日々の不安をはねのけ見事な走りを見せたグランアレグリア。

その後、ダノンファンタジーはチューリップ賞を、クロノジェネシスはクイーンカップをそれぞれ快勝し、理想的なステップを踏んで本番へ臨んだ。そしてもう1頭の女王候補であるグランアレグリアは、前哨戦を使わずじっくりと休養に充て、桜花賞へは“ぶっつけ”で参戦。およそ4か月ぶりの実戦という異例のローテーションを不安視する声も聞こえるなかでのゲートインとなった。

しかし、グランアレグリアは周囲のネガティブな捉え方が杞憂にすぎないことを鮮やかに証明してみせる。

大外枠からブルヴィルが先手を取り、グランアレグリアは3~4番手の好位置を追走。ダノンファンタジーがそれに続き、クロノジェネシスは中団を進んだ。レースは緩みのないペースで流れていくところ、グランアレグリアは3コーナー付近から外を回りながら前との差を詰めて先行勢を射程に捉えた。そして迎えた直線。手綱を抑えたまま楽々と先頭に立ち、鞍上のクリストフルメール騎手からゴーサインを受けると、あとは独走状態。熾烈な2着争いを尻目に堂々と押し切って勝利を収めた。2着には後方から追い込んだシゲルピンクダイヤが入り、クロノジェネシス、ダノンファンタジーはそれぞれ3、4着に敗れた。

グランアレグリアの走破タイム1分32秒7は、アーモンドアイが作った前年の記録を0秒4縮めるレースレコード。年明け初戦で桜花賞を制したのは史上初のことだった。「休み明けなのでメンタル面が心配でしたが、レース前にすごく落ち着いていて自信がありました」とは、本レースの連覇を達成したルメール騎手。新女王の強さと速さが際立つ桜の舞台となった。

第79回桜花賞「G1」

4/7 阪神競馬場 1600_米(芝・右・外) 晴・良 18頭

着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	調教師	タイム/差	人気	通過順位
1	グランアレグリア	牝	3	55	C.ルメール	藤沢 和雄	1:32.7	②	③①
2	シゲルピンクダイヤ	牝	3	55	和田 竜二	渡辺 薫彦	2 1/2	⑦	⑮⑫
3	クロノジェネシス	牝	3	55	北村 友一	斉藤 崇史	クビ	③	⑧⑨
4	ダノンファンタジー	牝	3	55	川田 将雅	中内田充正	ハナ	①	⑤④
5	ビーチサンバ	牝	3	55	福永 祐一	友道 康夫	クビ	④	⑩⑥
6	ブルヴィル	牝	3	55	秋山真一郎	庄野 靖志	3/4	⑩	⑪②
7	エールヴォア	牝	3	55	松山 弘平	橋口 慎介	1 1/4	⑧	⑬⑮
8	ジュランビル	牝	3	55	松若 風馬	寺島 良	3/4	⑮	②③
9	シェングランツ	牝	3	55	武 豊	藤沢 和雄	クビ	⑥	⑯⑰
10	アウエルアウエイ	牝	3	55	石橋 脩	高野 友和	2	⑪	⑬⑨
11	ノーワン	牝	3	55	坂井 瑠星	笹田 和秀	1 1/4	⑫	⑧⑨
12	メイショウケイメイ	牝	3	55	古川 吉洋	南井 克巳	1 1/4	⑮	③④
13	アクアマラピリス	牝	3	55	M.デムーロ	吉村 圭司	1 1/4	⑤	⑦⑥
14	レッドアステル	牝	3	55	戸崎 圭太	国枝 栄	1/2	⑮	⑯⑰
15	フィリアプーラ	牝	3	55	丸山 元氣	菊沢 隆徳	1 3/4	⑬	⑯⑰
16	ホウオウカトリヌ	牝	3	55	大野 拓弥	栗田 徹	クビ	⑮	⑤⑥
17	ノーブルスコア	牝	3	55	岩田 康誠	藤原 英昭	3/4	⑩	⑯⑫
18	ルガールカルム	牝	3	55	三浦 皇成	田村 康仁	2 1/2	⑨	⑯⑫

単勝 ⑧340円 複勝 ⑧170円 ⑯400円 ④200円 枠連(4-8) 3,110円
馬連 ⑧-⑯4,410円 馬単 ⑧-⑯5,700円 ワイド ⑧-⑯1,280円 ④-⑧420円 ④-⑯1,410円
3連複 ④-⑧-⑯5,990円 3連単 ⑧-⑯-④31,810円

ハロンタイム 12.2-11.1-12.1-12.3-11.7-10.8-11.0-11.5
通過タイム 600_米③35.4-800_米④47.7-1000_米⑤59.4-1200_米⑥1:10.2-1400_米⑦1:21.2

優勝馬 **グランアレグリア**
2016.1.24生 父ディーインパクト 母タビッツフライ 母の父Tapit
安平・ノーザンファーム生産 馬主:(有)サンデーレーシング